

# ソフトバレーボール競技会実施要項

## 1. 競技規則

開催年度の（公財）日本障がい者スポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び（公財）日本バレーボール協会制定競技規則、並びに本大会の申し合わせ事項を適用する。

## 2. 参加区分

身体障がい、知的障がい、精神障がいの3区分に分ける。1つのチームに異なる障がい区分の選手がいる場合はオープン参加（記録は公式記録とならず、順位をつけない）とする。

## 3. 服 装

チームユニフォーム（背番号入り）を着用する。チームユニフォームがない場合は運動に適した服装を着用し、主催者の指定したビブスを着用する。

## 4. 練習時間

受け付けを済ませた後、開会式の合図があるまでは練習を許可する。

## 5. 招 集

招集は競技場内で行い、競技進行により放送で招集するので競技役員の指示に従う。

## 6. チーム編成

1チームの構成は男女混成とし、6名以上12名以内とする。

## 7. 競技方法

- (1) コートの大きさは18m×9mとする。
- (2) ネットの高さは2m24cmとする。
- (3) 使用するボールは、日本バレーボール協会制定ソフトバレーボール球・糸巻き（モルテン製 円周78±1cm、重量210±10g）を用いるものとする。
- (4) 試合は3セットマッチ（すべてのセットデューズなし）とし、2セットを先取したチームを勝ちとする。1・2セット目は25点、3セット目は15点で終了するが、参加チーム数によってはこの限りではない。
- (5) 試合は6名で行い、女性選手が常時1名以上出場していなければならない。
- (6) サービス後の攻守のポジションはフリーとする。ただし、サーバーによってボールが打たれる瞬間は、それぞれのチームは、各自のコート内でローテーション・オーダーに従って、位置しなければならない（サーバーは除く）。
- (7) ネットインサーブ有りとする。
- (8) 1セットにつき、最大2回のタイムアウト（1回30秒）と、6回の競技者の交代が認められる。
- (9) 手のひらを上に広げてのアンダーハンドパスは認めることとする。